学校番号	３１１

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	新編「国語総合」　（数研出版）						
副教材等	常用漢字ダブルクリア（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ワークが必要な時は事前に連絡しますので忘れず持参してください。
・将来、社会人として必要となる基礎的な語彙力の定着を目指します。
・様々な文章を「読む力」を向上させ、相互理解のための「話す・聞く力」、意思伝達のための「書く力」を身につけることを目指します。
・古典の授業では、有名な古文・漢文の作品を学び、伝統的な言語文化への理解を深めることを目指します。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
・思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。
・言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検	行動の観察 （授業内での発言）	記述の確認及び分析	記述の確認及び分析 定期考査	行動の観察 記述の確認 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	小説1	とんかつ	○	◎	◎	○	○	a 現代小説に触れ、小説を自分に引きつけながら読む姿勢を養う。 b 感想を話し合う。 c 感想を書く。 d 短編小説の基本的な読解方法を習得する。登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 e 現代小説の漢字や言葉を理解する。	a b d 授業態度の観察 a d e 定期考査 a 発問評価 c プリントの提出 e 指名音読
		羅生門	○	○	○	◎	○	a 短編小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。 b 感想を話し合う。 c 感想を書く。 d 近代の代表的な小説を読んで、基本的な読解方法を習得する。登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 e 近代小説の漢字や言葉を理解する。芥川龍之介に対する理解を深める。	a b d 授業態度の観察 a d e 定期考査 a 発問評価 c プリントの提出 e 指名音読
	古文入門	児のそら寝	◎			○	○	a 古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 d 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 e 歴史的仮名遣いを理解する。文語と口語の違いを理解する。	a d e 授業態度の観察 a d e 定期考査 d 発問評価 e 指名音読 プリントの提出
	古文に親しむ	検非違使忠明	○			◎	○	a 生徒もよく知る清水寺を舞台とした話を通して、古文への関心を深める。 d 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 e 現代語との文法の違いを理解する。既習の知識をもとに、部分的な口語訳ができるようにする。	a d e 授業態度の観察 a d e 定期考査 d 発問評価 e 指名音読 プリントの提出

二学期	評論1	水の東西	○			◎	○	a 幅広く柔軟な思考力を養う。 d 二項対立的な評論の読解方法を習得する。西洋文化と対比された、日本文化の特徴について理解を深める。 e 評論文の漢字や言葉を理解する。	a d 授業態度の観察 a d e 定期考査 a 発問評価 プリントの提出 e 指名音読
	小説3	ナイン	○	○	○	◎	○	a 現代の代表的な小説家の作品を読んで、小説についての理解を深め、そのおもしろさを味わう。 b 感想を話し合う。 c 感想を書く。 d 小説の読解方法を習得する。登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 e 漢字や言葉を理解する。	a b d 授業態度の観察 a d e 定期考査 a 発問評価 c プリントの提出 e 指名音読
	評論2	ものづくり	○			◎	○	a 大量生産・大量消費が主流の昨今において、手作りがもたらす作用を読解を通して知る。 d 評論の読解方法を習得する。 e 評論文の漢字や言葉を理解する。	a d 授業態度の観察 a d e 定期考査 a 発問評価 プリントの提出 e 指名音読
二学期	説話と随筆	徒然草 高名の木登り 丹波に出雲といふ所あり	○			○	◎	a 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 d 随筆の読解方法を習得する。 e 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。動詞の文法について理解する。	a d e 授業態度の観察 a d e 定期考査 d 発問評価 e 指名音読 プリントの提出
	漢文入門	漢文の海へ 訓読のきまり	○			○	◎	a 漢文に親しみを持つ。 c 正しい書き下し文を書く。 d 漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味・用法を理解する。 e 訓読のきまり・書き下し文のきまりを理解する。	a d e 授業態度の観察 a c d e 定期考査 c プリントの提出 d 発問評価 e 指名音読

	故事成語	助長	○			◎	○	a 古代中国人のものの見方･考え方を知り、それとの比較を通して、日本文化をより深く理解する。 d 漢文訓読の基本事項を確認する。平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解する。故事成語のもとになった話の内容を捉えたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解する。 e 訓読のきまり･書き下し文のきまりを理解する	a d e 授業態度の観察 a d e 定期考査 d 発問評価 e 指名音読
三学期	小説2	カレーうどん	○	○	○	◎	○	a 現代小説に触れ、自己に引きつけながら読む態度を養う。 b 感想を話し合う。 c 感想を書く。 d 現代小説の読解方法を習得する。登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 e 現代小説の漢字や言葉を理解する。	a b d 授業態度の観察 a d e 定期考査 a 発問評価 c プリントの提出 e 指名音読
	詩	六月	○			◎	○	a 近代詩を読み味わう。現代詩の鑑賞のしかたを習得する。 d 作品世界をつかみ、詩に込められた作者の思いを理解する。 e 現代詩の形式や言葉を理解する。	a d 授業態度の観察 a d e 定期考査 a 発問評価 プリントの提出 e 指名音読
		サーカス	○			◎	○	a 中原中也の人生観、自然観を読み取る。 d この詩の発想のおもしろさを理解する。この詩で用いられている表現を読み取る。 e 近代詩の形式や言葉を理解する。	a d 授業態度の観察 a d e 定期考査 a 発問評価 プリントの提出 e 指名音読
	物語と日記	伊勢物語	○			◎	○	a 歌物語を読んで、古文に親しむ。 d 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。歌物語における和歌の役割を理解する。 e 和歌を味読し、修辞技巧を理解する。	a d e 授業態度の観察 a d e 定期考査 d 発問評価 e 指名音読 プリントの提出

	漢詩の鑑賞	唐詩 絶句と律詩	○			○	◎	a 唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 d 中国の自然や、人間の心理が詩にどのようによまれているかを考える。詩に表現された作者の心情について理解する。 e 漢詩のきまり（詩形・押韻・構成・対句）について理解する。	a d e 授業態度の観察 a c d e 定期考査 d 発問評価 e 指名音読

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
　　c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　一つの単元（題材）で全ての観点について評価する。
学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。